

## ハテの浜クリーンアップ

4月22日に島内渡船事業者、漁協組合のご協力のもと、久米島の観光スポットとして欠かせないハテの浜クリーンアップを行いました。今回のボランティア活動には島内外から約90名が参加し、船3隻分の漂着ゴミを運ぶことが出来ました。

ゴミの収集後は、NPO法人久米島ホテルの会より分別の説明を行い、参加者は「自分たちがゴミを海に捨てないこと」「ビーチを訪れた際は、少しでも漂着ゴミを拾って帰り、しっかり分別も行いたい」などの声が上がりました。主催者の久米島町観光協会は「今後も、久米島へ来島する方々に、いつ来島しても『来てよかった』と思う観光地を目指し、継続的に活動を行っていく」と話されました。



## 久米島美ら海環境基金贈呈式

4月21日、久米島町役場にて久米島美ら海環境基金贈呈式が行われ、2022年度基金として809,508円が贈呈されました。

この基金はもずくの生産地である久米島の環境保全を目的に2014年に設立されたもので、「大阪いずみ市民生協」と「わかやま市民生協」で購入された久米島産もずく

1パックにつき3円を販売元である「(株)海産物のきむらや」が積み立ててきたものです。

2014年の基金設立から寄付累計は6,731,190円となり、いただいた寄付金は海岸の漂着ゴミの除去や赤土流出防止等の環境保全活動に活用されます。

## 春の全国交通安全運動開始式

5月11日、久米島町役場において春の全国交通安全運動開始式が行われました。本運動は、5月11日～5月20日までの10日間で行われ、久米島町民一人一人に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの厳守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、町民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

出発式では、保育園児による「交通ルールを守ります」という力強い誓いの言葉がありました。悲しい事故を無くすために、交通ルールを守りましょう。



## 沖銀人材出向について

久米島町と株式会社おきなわフィナンシャルグループ（以下OFG）は、令和5年1月に締結した「包括的連携協定」に基づき、OFGの職員を久米島町へ派遣する協定書を締結し、4月17日から瀬口航さんが商工観光課主事として着任しました。

久米島町とOFGは第2次久米島町総合計画・基本構想の将来像である「夢つむぐ島一島人みんなで織り上げる未来一」に向けて、相互に連携、協力し、久米島町での「地域が抱える課題解決」「地域の産業振興」「地域の人事育成」に取り組むこととしており、今回の人材の派遣を通して相互理解を深め、双方が有する資源を効果的に活用することで、魅力的な久米島町の創造に取り組んでまいります。